

ロールブレイカー

ROLL BREAKER

株式会社 前川工業所

ダブルロール の前川

圧倒的な実績と高性能により、
前川の「ロールブレイカー」は、
ロール式破砕機の代名詞にまでなっており、
ご好評を頂いております。



ゴムタイヤ駆動式

RBT-3030

1,000台 OVER

昭和38年に開発以来、様々な改良を重ね、過酷な使用条件に耐えうる堅牢さと、精密で簡単な間隙調整機構や省メンテナンス性を有しており、多くの業界でご使用頂いております。



60年の実績と経験、 あらゆる「破碎」を解決する前川のロールブレイカー

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 目的の粒度範囲に破碎可能 | 衝撃式破砕機に比べ、製品粒度中にアンダー（粉）が圧倒的に少ないため、製品の歩留まりが高くとれます。 |
| 2. 安定した製品粒度 | ロール間隙を通過するため、オーバーが少なく安定した製品粒度が得られます。 |
| 3. 粒度の精密調整 | ロールの間隙調整が0.1mm単位で簡単に調整できますので、ロール摩耗や破碎物の性状変化に合わせて随時調整可能です。 |
| 4. 消耗品コストが安価 | 衝撃式破砕機に比べ消耗品などのランニングコストが約20%低減できます。 |
| 5. 省メンテナンス | 衝撃式破砕機に比べ、摩耗部品の耐久時間が長いため、メンテナンス間隔が長くとれます。 |
| 6. 低騒音 | 前川独自のゴムタイヤ駆動により、低騒音化を実現しています。 |
| 7. コンパクト | 前川独自の間隙調整機構により、機械がコンパクトで、機械高さも低いため、設備レイアウトに有利です。 |
| 8. 0.2mm粉碎可能 | 間隙を0.2mmなど極小にセッティングすることで、細かく粉碎することも可能です。 |
| 9. 安全 | ミル系の粉塵爆発の危険性と比べ、圧縮破碎のみのロールは粉塵爆発の危険性が少なく安全です。 |
| 10. 安心 | 多くの実績をフィードバックした堅牢設計により、過酷な使用条件下でも安定した性能を発揮します。 |

ROLL BREAKER

ロールタイヤについて

タイヤには波型タイヤ(N型)と、平型タイヤ(F型)と太鼓・鼓型のT・U型があります。生産する粒度によりそれぞれタイヤの型状を選定し、組合せを行い最適な方法で使用することができます。また、これらの組合せも現場で短時間に容易にできる構造になっています。



N型 (波型) 分割式



F型 (フラット型) 分割式



F型 (一体型)
フラット変形



TU型 (一体型)



RBT-1716

前川独自のゴムタイヤ駆動方式

- シンプルな機構で、取扱いやメンテナンスが容易です。
- 振動騒音が小さく静粛運転可能です。
- 0.1mm単位での精密な間隔調整が可能です。

破砕物に合わせて、各種ロールタイヤをラインナップしております。

- フラット一体型 (高マンガン、高クロム)
- フラット一体型 (低合金)
- フラット分割型 (高マンガン、高クロム)
- 太鼓 (凹凸) 一体型 (高マンガン)
- 波形分割式 (高マンガン)
- その他、超硬質仕様などの材質を取り揃えております。



RBT-1610



RBT-2424

破砕対象物の実績

- 素材関係
ガラス類 | 合金鉄 | 研磨材 | シリコン | レアメタル | セラミック類 | 酸化鉄 | カーボン | 電融マグネシアなど
- 環境・エネルギー関連
焼却灰溶融スラグ | 焼却灰 | 溶融飛灰 | 廃瓦 | タールピッチ | 焼成品 | プラスチック類など
- 石炭・石類関係ほか
石炭 | コークス | 砕石 | 土石 | 石灰石 | 生石灰 | 鉄鉱石 | 陶石 | 長石 | 化粧石など

破砕テストのご案内

ロールブレイカー、ジョークラッシャー、ハンマークラッシャー、小型鬼歯ロールクラッシャーなどを常設し、随時破砕テストを承っております。

型式	RBT-1610	RBT-1716	RBT-2016	RBT-2416	RBT-2424	RBT-3024	RBT-3036	
ロールタイヤ 径×巾(mm)	400×250	430×410	500×410	610×410	610×610	760×610	760×900	
最大供給値	約2～約50mm(注1)							
毎分回転数 (min ⁻¹)	100~120	100~120	110~130	110~130	110~130	90~150	90~150	
電動機出力(kW)	11	11	22	22~37	22~37	37~55	45~75	
本体重量(注2)	1.4t	1.9t	3.5t	4.2t	4.9t	11.3t	12.1t	
各ロール間隔における 概略破砕能力(t/h) (注3)	0.5mm	1	1.6	3	3.5~7.5	5~10	6~11	8~16
	1.0mm	2	3.2	6	7~15	10~21	13~22	17~32
	1.5mm	2.5	4.1	7.5	9~18	13~25	17~28	21~39
	2.0mm	3	4.9	9	11~21	15~30	19~21	24~45
	2.5mm	3.4	5.6	10	12~24	17~33	21~36	27~51
	3.0mm	3.7	6.0	10.5	13~26	19~36	24~39	30~55
	4.0mm			13	16~31	22~42	28~46	35~65
5.0mm			14	17~34	24~47	30~50	38~71	
6.0mm~				(注4)		32~54	41~77	

(注1) 最大供給値は、仕様仕様によって異なりますので、お問い合わせください。

(注2) 電動機・昇降装置を含まない本体のみの本体重量で、仕様により総重量と異なる場合があります。

(注3) 初期の破砕能力は、見掛け1.6程度の石灰質を破砕比4:1にて連続破砕した場合の参考値です。

(注4) RBT-303、RBT-3047も実績がありますので、お問い合わせください。